

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	今後も会議内容の検討を続けていく予定である。過去と未来(今後)を含めて変化している地域であり、子どもたちから高齢者を含め、地域の「未来像」をテーマに参加者の方々と「地域に必要なもの」等を考えて生きたい。	事故報告などを、行なってきたが、その後の取り組みや、検討した内容など、来夢が行なってきた内容なども説明し、来夢の中の様子、暮らしのことなどももっと詳しく説明をしていき、透明性を図りたい。	次回、二月の運営推進会議で、今回の外部評価を説明するので、その際から、検討内容や、今後の対策等も説明していく。今後も継続していく。	1 ヶ月
2	20	家族構成や生活歴、病歴などを把握しているが、今後は更に生活歴を深め、馴染みの場所や馴染みの方、幼少期の遊びや好きだった遊びやすきだった事などの話に発展させていくと共に、アセスメント記録に残していく予定である。	再アセスメントをし、生活歴が昔の職業や生まれた場所くらいしか聞いていなかったのもっと深く話をし、馴染みの場所などを聞いていき、できる限り一緒に訪れる機会、または、家族様の協力を得て、いけるようにしていきたい。	まずは、再アセスメント。様式も変更し、できるだけ詳しく掛けるようにする。入居者様一人ひとりと話をする機械を増やし、馴染みの場所や馴染みの方などの把握に努める。	6 ヶ月
3	26	計画に繋がる24時間全般のアセスメント項目(認知能力、意思決定能力、歩行能力等)の記載方法を検討すると共に、介助が必要な原因、要望、出来そうなこと(目標設定)等を検討し、計画の根拠記録(アセスメント)を充実させる予定である。	現在、アセスメント用紙を新しく変更しており、全員の再アセスメントを行なっている。記載式のアセスメントに変更し、状態がよりわかりやすいようにしていく。そこから、プランに繋げていく。	まずは、再アセスメントを終了させ、その後、ケアプランの見直しを行う。	3 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月